

浜学園	5年		
	算数		
学習内容	6月の学習内容 No.14 割合(1) No.15 割合(2) No.16 割合(3) No.17 文章題(2)		
家庭学習ポイント	No.14では、割合、比べられる量、元にする量、割合条件の処理、割合条件からの復元という、これまた今後の難問を解くために必要な知識と演習が詰まった単元です。何となく正解したらOKではなく、条件整理を丁寧に行う作業を身につけてください。 No.15では歩合と百分率について学びます。割合（小数）を歩合、百分率に変換する練習から始まり、百分率や歩合で示された割合を求めていきます。表し方が違うだけで作業は同じ、ということに慣れていくことが必要です。円グラフの問題も扱います。 No.16では割合のさまざまな文章題を学びます。「落とした高さの□%跳ねるボール」の問題や「使った後の残り」を階段状の線分図に表して考える問題など、入試問題でもよく扱われる問題ばかりです。No.17は比の文章題です。増減によって比がかわることから考える、こちらも入試頻出の最重要単元の一つといえます。		
課題の把握と解決策	チェック1	割合の基本計算が正しくできていますか？	チェック
	解決策	「割合＝□倍」という感覚を持つておくことが大切です	□
	チェック2	割合の文章題では線分図など何らかの「図」を買って解いていますか？	チェック
	解決策	線分図に関しては「端を揃える」「上下同じものは揃える」といった技術も重要です	□
	チェック3	小数と歩合、百分率の対応がしっかり身についていますか？	チェック
	解決策	百分率は全体が100（％）、歩合は全体が10（割）ですね	□
	チェック4	「ボールが跳ねる問題」では必ず図を書いて解いていますか？	チェック
	解決策	必ずその様子をしっかりと図に書くことが必須です	□
	チェック5	「AくんとBくんの所持金の比は○：□でしたが」という問題で図や比例式を書いていますか？	チェック
解決策	この時期以降はもう「頭の中だけでできる」問題はないと考え手を動かしましょう	□	
浜学園	5年		
	国語		
学習内容	6月の学習内容 「物語文」 「説明文」 「随筆文」 「論説文」		
家庭学習ポイント	物語文では心情変化を学びます。物語文での心情変化は、直接的に表現されることはほとんどありません。多くの場合が間接的に、場面の変化や登場人物の言動、情景描写等によって表現されます。言い換えれば「場面の変化、情景の変化の描写があれば、それは登場人物の心情を表現している」と考えていいわけです。このような読解技法をしっかり学んでいきましょう。随筆文では「事実と意見を掴むこと」を学びます。随筆文の読解の最大のポイントは、事実（筆者の経験）と意見（経験から筆者が感じたこと）を読み分けることです。意見の部分の中に筆者の言いたいこと、結論が隠れています。この「読み分け」の技術を習熟させていきましょう。論説文では「話題・具体例・反証・対比の読み方を理解すること」を学びます。文章の「話題」は多くの場合冒頭で述べられます。一方で筆者の「結論」は文章の末尾付近で述べられることが多いですが、その結論に導かれるまでの過程で、上記の「具体例・反証・対比」に注目して読んでいくことが重要です。		
課題の把握と解決策	チェック1	場面の変化、情景描写から登場人物の心情を読み取れていますか？	チェック
	解決策	物語文では定番の読解技術です。「場面が変わった＝心情も変わった」くらいの意識が重要です	□
	チェック2	文章の種類によって読解の方法が違うことが理解できていますか？	チェック
	解決策	物語文と随筆文、論説文など文種が違えば読み方も違います	□
	チェック3	随筆文で「事実」と「意見」を読み分けていますか？	チェック
	解決策	文章中に印などをしていくのも一つの方法です	□
	チェック4	物語文の読解が「ストーリーを追う」だけになっていませんか？	チェック
	解決策	難しい問題では「理屈で読む」ことが必要です。読解技法を使うことを意識しましょう	□
	チェック5	比喩が具体的に何を意味しているのか把握できていますか？	チェック
解決策	比喩によって何を、何に例えているのか、その共通点を知っていることが大切です	□	

浜学園	5年		
	理科		
学習内容	6月の学習内容 No.14 星の年周運動・星座早見 No.15 光の性質 No.16 音の性質 No.17 熱の伝わり方		
家庭学習ポイント	No.14では、「星の年周運動＝1年で地球をほぼ1周する見かけの動き＝原因は地球の1年の公転の動き」と理解を広げていきましょう。いずれも太陽、地球、星座の位置関係が重要です。星座早見に関しては「頭の上にかざすようにして使うこと」から東西が地図とは逆になっていること、また回転させる際の角度などについても「丸覚え」ではなく実際の星の動き（1時間に15度、1ヶ月に30度東から西へ動く）とリンクさせて記憶しておくことが重要です。No.15からは物理分野に進みます。光、音とも、身近でありながら、その性質について実感を伴って学ぶことがなかなか難しい単元です。まずは光、音の性質をそれぞれ3つ、日常で体験することとリンクさせて覚えることから始めましょう。光については、難関校では凸レンズを通った光の進路の作図が頻出です。正しく書けるよう練習しておくましょう。音の分野では、難関校ではやはり音速計算、ドップラー効果に関する問題が頻出です。音速計算は、音速が非常に速い（秒速約340m）ということを除けば、作業は算数で学習した「旅人算」と同じです。落ち着いて計算することを心がけましょう。No.17は熱についてです。こちらでもまず「伝導・対流・放射」という熱の伝わり方の基本3種を理解するところから。「cal（カロリー）」を使った熱量計算も学習します。		
課題の把握と解決策	チェック1	地球から見える星の年周運動は地球の公転によるものだと、腑に落ちていますか？	チェック
	解決策	模式図をよく見て、納得できるまで考えることが重要です	□
	チェック2	星座早見盤を持っていますか？	チェック
	解決策	実物を持って、使ってみることが効果的です。「今見える星空は？」を確認しましょう	□
	チェック3	凸レンズを通った光が一点に集まる理由を説明できますか？	チェック
	解決策	光の屈折によるものですね。テキストでよく確認しておきましょう	□
	チェック4	ドップラー効果を実際に経験したことがありますか？	チェック
	解決策	救急車のサイレンなどを聞いた際、ぜひ親御さんが気づかせてあげてください	□
	チェック5	「伝導・対流・放射」を実際に経験したことがありますか？	チェック
解決策	「伝導＝金属に触るとひんやりする」（手から熱が伝導で奪われる）など気づいていない経験も	□	
浜学園	5年		
	社会		
学習内容			
家庭学習ポイント			
課題の把握と解決策			チェック
			□
			チェック
			□
			チェック
			□
			チェック
			□
			チェック